



2020年3月19日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド  
 代表者名 代表取締役社長 関戸 正実  
 (コード番号 9878 東証第二部)  
 問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭  
 (TEL. 03-6300-6335)

### 特別損失の計上及び2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年1月31日に公表した2020年3月期の業績予想値を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上について

当社は、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、店舗戦略の見直しを行い、今後、採算の悪化が見込まれる店舗については、撤退を早めることとし、当第4四半期会計期間において80百万円程度の特別損失を計上することといたしました。

#### 2. 通期業績予想の修正について

2020年3月期通期業績予想数値の修正 (2019年3月21日～2020年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,700	△165	△190	△202	△117.64
今回修正予想(B)	6,600	△380	△405	△498	△290.03
増減額(B-A)	△100	△215	△215	△296	
増減率(%)	△1.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	7,516	△107	△147	△186	△112.10

(注) 当社は、2018年9月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### 修正の理由

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、政府主導による感染拡大の抑え込み施策が着々と打たれる中、当社でも売上高の落ち込みとこれに伴う、売上総利益の減少が発生しております。対応策として商品在庫の早期消化に向けて200百万円程度の評価の切下げを見込んでおります。また、店舗戦略の見直しも必要と考えており、採算の悪化が見込まれる店舗については、撤退を早めることとし、80百万円程度の特別損失を見込んでおります。これらの状況を踏まえ、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

以 上

※本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。